



埼玉県舞踊協会
NO.37

埼玉県舞踊協会ニュース

Saitama Dance Association

発行所：埼玉県舞踊協会
発行者：藤井 利子
埼玉県さいたま市浦和区東仲町 1-16 鳥昇ビル 3F
TEL:048-882-7530 FAX:048-882-7549

『新年度を迎えるにあたって』

埼玉県舞踊協会会長 藤井利子

「ダンスセッション2014」2月2日(日)2回公演は、フィンランドのテロ・サーリネン氏に、日本ダンス界に振付けて戴いた新作の発表を果たして戴くことが出来た。交渉から終了まで、立木輝子氏に多大な貢献を賜り、また協会作品「四季」のご協力で、意義ある成果を遂げることが出来ました。大きな反響を感じています。

ご支援下さいました関係各位に、心から感謝いたしております。
「第47回バレエ・モダンダンスフェスティバル」3月2日(日)川口リリアホールも、満席のお客様にご高覧戴き、子ども達の熱演で楽しい舞台を終了する事が出来ました。3月6日、参加された先生方との反省会があり、建設的な意見が次回に反映されると思っています。現在、6月22日の総会に向けて、役員改選、総会資料づくりの準備が進行中です。また、5月11日から、埼玉全国舞踊コンクールの応募受付が始

まります。4月より新年度がスタートいたします。舞踊協埼玉を目標として、発足して48年、埼玉舞踊協会が、積み重ねてきた骨太の土台を基に、引き続き、時代の希求に基づき開拓する活力を合わせ持ち、今後も発展して参りますよう、また、会員の皆様のお力が発揮できる運営で、明日への希望を繋ぎ続けて参りますよう、心から祈念いたしております。
新年度を迎えるにあたり、皆々様のご健康と、ご発展をお祈り申し上げます。

『テロ・サーリネンの『MESH』など、意義あるプログラム』

ダンスセッション2014
舞踊評論家 うらわまこと

埼玉県は、モダンダンスでは伝統的にレベルの高さと層の厚さを誇り、バレエの分野でも、県単位でプロクックの呼称を持つのはこと神奈川だけという、日本バレエ協会の埼玉ブロック(関東支部)があり、それぞれに活発に活動を行っている。この両分野の主要メンバーが参加して作った埼玉舞踊協会。昨年46回を数え、わが国で2番目に長い歴史をもつコンクールを始め、多彩な活動を行っている。



撮影/スタッフ・テス(株) 飯田耕治

ダンスセッション2014

彩の国さいたま芸術劇場 大ホール
2月2日(日)

世界的視野に立ったユニークな企画で興味をそそる。今回は、フィンランドから振付者テロ・サーリネンを招いての新作初演、協会会員による競作バレエ、そして、埼玉全国舞踊コンクールで、昨年から始まった創作部門の1位作品の披露と、なかなかバラエティに富んだプログラムとなった。

テロ・サーリネンは、フィンランド国立バレエ団でソリストまでつとめている。振付家となつてからは大野一雄などの舞踏の影響を受けながら、独特のスタイルを築き、世界各地のトップカンパニーに作品を提供している。今回の作品は協会のために創作した『MESH』。みずから選んだ出演者は協会員を主体に男性9名、女性17名。タイトルは網とか罍の意味、つまり身動きできない状況。縦に横に、そして交差する黒衣の男女は、時に不気味な波のうねりを思わせ、

高いタップなど劇場の能力をフルに発揮させようとした姿勢はさすがだし、また角と円を組み合わせた、とくに上体の動きは、出演者の多くにとつてはきわめて新鮮な体験であつたろう。全体としてよく対応し、協会、会員にとつて大きな刺激となつたと思われる。
クラシックは、春/山路瑠美子、夏/相羽源氏、山本教子、秋/佐藤良寛、冬/笠原千珂子が作り分け、まとめ上げる『ヴィヴァルディ...四季』。それぞれの曲想に合わせて動きの構成に独特の感覚を示しているが、基本

的には正当なスタイル。ダンスサーがみな姿態よく、技術も申し分ない。現代舞的なサーリネン作品との対比をしっかりと見せた。
コンクール1位の高橋裕子の作品は『Blindness - 白い闇 -』。長い作品の一部を取り出してまとめたもの。東京、秋田のコンクールでも高い評価を得、現代舞協会の「現代舞踊フェスティバル」でも優秀賞を受けている。仙台に住む作者が、地震津波被害の体験を元に作られたもの。自然の猛威に翻弄される人々の恐怖とそこから生まれる絆、そして未来への希望を、達者なダンスサーたちと、象徴的な装置や照明を使って描き出し、これが決して風化させてはならない出来事であることを強く訴えた。

舞踏の影響を受けた世界の最先端のダンスシーンで活躍する舞踊作家の、日本人ダンス界の代表する4人の舞踊家によるクラシックをベースにした共同作品。そして、宮城県の舞踊家高橋裕子による、現代舞踊に新しい感覚を練り込んだスタイルで大震災、津波をテーマにしたコンクール1位作品。タイトルは異なるトリプルビルは、観客だけでなく、舞踊界にとつてもきわめて有意義な機会となった。



『Blindness - 白い闇 -』

「ダンスセッション2014」を終えて
盛会に「ダンスセッション2014」を開催出来たことをご報告申し上げます。そして、埼玉県舞踊協会の先生方、テロ・サーリネン氏、テロ・サーリネン氏の国際交流アドバイザーの立木輝子先生、劇場関係のスタッフの皆様、係わりあつて下さいました全ての方々に、心より御礼を申し上げますと共に、感謝の気持ちをお伝えさせていただきます。
立木先生には、北欧のダンスの流れのご講演を頂きました。その契機でテロ氏をご紹介して頂きました。物凄く勢いで進行して行き、あつという間に2年間の通り過ぎ、公演を迎えた様な感じが致しました。
大きな劇場で一つのカンパニー、振付家を交渉してお呼びするのとは訳が違い、どの様な企画で、どなたが受けてくれるのかという所から始めてくれそうかという所から始まり、交渉、契約、日程、ダンスサーの選択と、さまざまに勢いで突進して来ました。その仕事の内容、量の多さを考えますと、事務局、総務、会計の先生方の仕事は、10年分のエネルギーを使い切つたのではないかと思われる程のものだった様に思

います。只々、有難うございましたと感謝の思いで頭を下げるばかりでございます。
1月7日、テロ氏が来日して振付が始まり3週間、色々な出来事が有りました。振付にはもちろん、音の構成、予算のほとんど無い中で衣裳の宮村先生にも一人入った衣裳を製作して頂きました。一番の問題は、外国のカンパニーと日本のダンスサーの環境の違いがテロ氏に理解されていなくて、日本のダンスサーは皆、別の仕事で生計を立てながらダンスサーをやっているのだという事を理解してもらおう事からの作業でした。時々、ダンスサーがバラバラに集まるという事にも不満を見せる事も有りましたが、理解してからは、振付方法を変えるなど、色々工夫をして下さいました。テロ氏がインフルエンザにかかり4日間身動きが取れない時に、ダンスミストレスのヘンリック氏と二人となり、ダンスサー達が頑張ってくれたり、後半は皆が時間を多く都合してくれたりといった、大きな協力の御蔭で本当に素晴らしい舞台が出来上がつて行った気が致します。
それと、埼玉舞踊協会の久し振りの創作コンクール復活で、第1位仙台の高橋裕子先生の作品『Blindness - 白い闇 -』



『Blindness - 白い闇 -』



『ヴィヴァルディ：四季』

埼玉県民芸術文化祭 2014 参加

第47回 埼玉全国舞踊コンクール 2014

《会場》さいたま市文化センター 大ホール・小ホール (入場無料)
《日時》7月19日(土)~26日(土)
《主催》埼玉県舞踊協会 《共催》(財)さいたま市文化振興事業団

期日	大ホール	小ホール
7/19(土)	クラシックバレエ 2部 予選	モダンダンス 2部 予選
20(日)	クラシックバレエ 2部 予選	モダンダンス 2部 決選
	クラシックバレエ ジュニア部 予選	
21(月・祝)	クラシックバレエ ジュニア部 予選	創作舞踊部門
23(水)	クラシックバレエ 1部 予選	モダンダンス ジュニア部 予選
24(木)	クラシックバレエ 2部 決選	モダンダンス ジュニア部 決選
25(金)	クラシックバレエ ジュニア部 決選	モダンダンス 1部 予選
26(土)	クラシックバレエ 1部 決選	モダンダンス 1部 決選

コンクールへの参加はホームページからのみ受付いたします
【埼玉県舞踊協会ホームページ】
<http://www.saitamaken-buyoukyokai.jp>
※注意事項をよく見てお間違えのないようお申し込み下さい。
沢山の方々のご参加お待ちしております。

新しい事への挑戦を!

石川須妹子

私の米寿を記念した公演が、お陰さまで無事幕を降ろす事が出来ました。

これも一重に支えてくださったスタッフ、心一つにして踊ってくれた三十四名の出演者、そして尽力惜しまず公演に向かってくれた幹部の弟子達、企画した娘田中いづみのお陰と心から感謝しております。そして、公演に足をお運びいただいた皆様あってのこと、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

この公演を終え、一息ついている今、ダンスの世界に入ってから七十余年を振り返ってみる。様々な事が走馬燈の様に浮かぶが、今一番感じる事と言えば、中学生の頃、只ひたすら踊りたくて、親の反対を押し切って始めた踊り。しかし、この世界に入っても、決してダンスだけに執着していた訳ではない。新たにやりたい事があれば何でもやりたいのが私の性分。ダンスをしながらも過去に色々やっていた。混声コーラスを山本直純氏の父直忠氏に師事し、俳句を高浜虚子の愛弟子の野村久雄氏に師事していた。そして現在は、それぞれ月二回、近所の主婦に交わりながら絵手紙と歌声をたしなんでいる、歌声の方は歌声喫茶オーナーの元芸大教授から手ほどきを受けている。

ダンスの世界だけで呼吸しているのではなく、全く違う世界で生きている人達と会い、話す事が、却って目新しいものを見せてくれる時がある。私達、ものを作る者は、比較的その世界だけに没頭しやすい、いっそなるべきなのかも知れないが、私は違う場に自分を置く事によって様々な事を学んでいる。常に思う事は、良く学び、良く遊ぶ事。

これからの舞踊界を担う、若い人たちに言いたい。何でも前向きに、やりたい事に挑戦して欲しい。きっと、その経験から何かが生まれてくるはずだから...。それは、踊りを作る、指導をするに当たっても生かされて来る。私も、まだまだ目新しい事に出会いたい。

コレオグラファーの目 vol.11

『足袋nce@能楽堂』

2013年11月9日、屋外での鑑賞には厳しい寒さの中、こしがや能楽堂に於いて「コレオグラファーの目vol.11」『足袋nce@能楽堂』が開催されました。

こしがや能楽堂では、(へ)の油分による舞台表面の変色や、摩擦による損傷を防ぐため、足袋を履き、手を着かず、決して回らず...という能舞台のしきたりを守らなければ



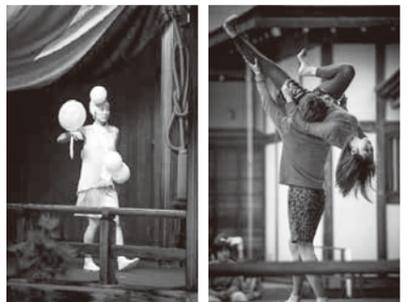
撮影/スタッフ・テス株
コレオグラファーの目 vol.11 ~足袋nce@能楽堂~
2013.11.9(sat) こしがや能楽堂

でしよう。また、こしがや能楽堂は交通の便が悪く、更に、足を踏み入れにくいような品格ある佇まいであったため、観客動員の困難さが予想されました。しかし、事前の活発な宣伝活動が功を奏して、約300名のお客様を動員することができ、この数字は、図らずも「コレオグラファーの目」始まって以来の快挙となりました。

ただ、この中で舞踊愛好家でない観客(初めて創作バレ

なりませんでした。最終的には、緋毛氈を敷くことで肌を床に付けることは可能になりましたが、コレオグラファーたちの真摯な取り組みは、これらのしきたりから斬新なアイデアや探求心に溢れた作品を生み出しました。回収されたアンケートの内、88%に「もう一度見たい作品があった」、「92%に「公演を楽しめた」と記入されていたことでもお分かり頂けるでしょう。

また、こしがや能楽堂は交通の便が悪く、更に、足を踏み入れにくいような品格ある佇まいであったため、観客動員の困難さが予想されました。しかし、事前の活発な宣伝活動が功を奏して、約300名のお客様を動員することができ、この数字は、図らずも「コレオグラファーの目」始まって以来の快挙となりました。



次回「コレオグラファーの目vol.12」は、2014年10月26日(日)に開催します。皆様のご参加はもとより、企画運営に携わり、新鮮な視点やアイデア、情熱を加えて下さるフレッシュな方を募集しています。興味を持って下さいますら、担当者までご連絡ください。協会員が推薦する。協会員以外の方も大歓迎です。

担当:上田仁美、原島マヤ、藤井香

第47回 バレエ・モダンダンス フェスティバル

川口リリアメインホール 3月2日(日) 撮影/スタッフ・テス株



「第47回バレエ・モダンダンスフェスティバル」

舞踊評論家 立木燁子

第47回バレエ・モダンダンスフェスティバルが3月2日(日)、川口リリアメインホールで開催された。伸びゆく子供達によるという副題通り、第46回埼玉全国舞踊コンクールの上位入賞者の披露公演に続き、賑やかに元気がいっぱいステージが続いた。14の団体が参加した今公演は、子供達の日頃の成果を披露する場として開催されているものではあるが、作品として優れた印象を刻む舞台もいくつかあり、報告しておきたい。なお、この段階のバレエでは、体型の成形やスタイルの基本的修得が重要なことは言うまでもないが、照明を浴びて本舞台を経験することが参加者たちの将来の可能性を育てる意味も大きい。小さいながらも、表現への態度を磨かせたい。

「再生」(川名今朝美モダンバレエスタジオ) 水色のドレスを纏う子らの魅力を舞台に引き出し、弦の響き、風の音などで構成された音楽にのって、季節の移ろいのなかに悲哀を経て再生へと向かう人々の姿をうまく表現した。

「ローニエの休日」(和泉伽甫瑠バレエスタジオ)は、パリの情景を淡彩のスケッチ風に明るくまとめた。ピクニックの場を、リードの女性と切れのいい動きを見せる男性(岡脇柚太加)の踊りを核に、ゴールドの子供達を自然に配し、爽やかな絵画的な舞台を成立させた。

「Let's enjoy sports」(田中瞳モダンバレエスタジオ) ラグビー、テニス、フライング、卓球と4種類のスポーツの姿を形態模写風に構成、躍動感に溢れに溢れた。面白いアイデアだが、スポーツの型にとらわれず、もっと自由にダンスとして振付けて欲しい。

「ふるさととは今もかわらぬ」(中村友美・上田仁美モダンバレエスタジオ) 題名通り浦島伝説を基に龍宮城の情景を描く。「龍神を守る」から「深海の宴」まで4景を描くが、華やかな衣裳でイメージが先行。踊りの振付にさらに工夫が欲しい。

「山路瑠美子バレエ研究所 新座教室」舞踏会へのご招待「ヨハン・シュトラウスの曲にのってドガの踊り子風の衣裳をまといブルー、ピンク、クリムムのチュチュのダンスサーが踊り次ぐ。大人と子供の間で構図に工夫が光る。

「悟空(細川初枝モダンバレエスタジオ) 玄奘三蔵に從う孫悟空の物語を基に構成した作品。胡弓の音にのって子らの間を三蔵が行く。中国

「水物語」窪内絹子モダンバレエ研究所 水の子、せせらぎ、激流、母なる海と水の多様な姿を大きなスケールで描いた。水のきらめきを表すかのようにながさの動きから大きな動きへ、水色の衣裳の水の子達が敏捷に動き、編成を変えながら発展していく。小さな子は大車輪で大人のダンスサーはポワントの速いシエネで、時に嵐の鋭さも挿入しつつ、表情豊かな舞台を生み出した。

「春の声」島村睦美バレエ研究所 ヨハン・シュトラウスの曲にのり、ピンク、白いチュチュの少女たちが軽やかに舞う。子供ながら詩情を表現。ただし、ポワントワークの一層の修練を。

「不思議な夢」吉田久木子モダンバレエ研究所 表現が斬新で個性的。前屈、尻を向けた形で始まり、うずくまる子らの頭から赤い布をとると、大きなダンスサーがそれを纏って踊っていく。後方に大宇宙が広がり、奇妙な動きと形象の変化がシユールな味わいを生み出した。作品としても面白く、若いダンサー達も表現することによく挑戦している。



◎協会の新年会

2014年1月12日、浦和ロイヤルパインズホテルにて、新年会を開催しました。協会員の先生方にお集まりいただき、埼玉舞踊協会の今後を、みんなで協力、努力していくことが必要であり、実り多い発展となることを...!! 良い機会となりました。

吉田久木子氏
☆埼玉舞踊協会文化団体連合会文化選奨
由井カナコ氏
☆現代舞踊協会
☆全国青少年の舞踊祭2013
・チャコットジュニア作品賞
「日本よいここいよこい」
窪内絹子モダンバレエ研究所
・明日の新人賞
「ゴッホと兄弟と仲間達 若き日の夢」
谷乃梨絵モダンバレエスタジオ
おめでとうございます。

◎編集後記

東日本大震災の3月11日を体感してから3年が経ちました。まだ復興の遅れがとてまぬがらあります。私たちも、その経験で学んだことを、新たに教訓として、今を大切に生きていきたいと思います。※お詫び! 毎回新聞の発行日が異なり、申し訳なく思っております。

広報部 笠原千均子
山本教子

「おおあたりー!」藤井・上原舞踊研究所 テクノ・ミュージックに合わせた子供達が「祝」シャツを着た子供達が「祝」シャツを着た子供達が「祝」シャツを着た子供達が...

第41回ステージI

舞踊界さいたまを目指した創造性豊かなフレッシュな舞台空間にご期待ください。

次代のすぐれた舞踊家育成を目指した研究発表

参加者募集!!

25作品前後、3分~7分位までの作品
会場/彩の国さいたま芸術劇場 小ホール
日時/2013年9月27日(土)・28日(日)

- #### 協会員催し物のご案内
- 2014年4月~10月
- 由井カナコバレエスタジオ
◎4/5(土) 深谷バレエ教室発表会
◎03(3)7297746 由井カナコ
 - 吉田久木子モダンバレエ研究所 第39回発表会
◎4/5(土) 15:00 クレアこうのす
◎048(541)0926 吉田久木子
 - 窪内絹子モダンバレエ研究所 第24回生徒発表会
◎4/13(日) 16:30
◎048(255)6447 窪内絹子
 - 第22回「すきま」モダンバレエ教室発表会
◎5/18(日) 東松山市民文化センター
◎049(285)3198 すきま
 - 第41回中村友美・上田仁美モダンバレエ
◎6/29(日) 15:30
◎048(734)5004 中村友美
 - アキコ・カンダダンスカンパニー公演 【有料】
◎7/4(金) 14:19~17:00
◎7/5(土) 14:19~17:00 青山形劇場
 - ◎048(645)6551 市川紅美
 - フジサトバレエスタジオ 第56回発表会
◎8/3(日) 15:30
◎03(3)99502218 藤原照子
 - ◎03(3)99502218 藤原照子
(公益社団法人日本バレエ協会 関東支部
埼玉ブロック 結成35周年記念公演)
◎27回「白鳥の湖」白鳥の湖(全席)
◎9/14(日) 川口リリアメインホール 【有料】
◎048(886)6420 河上正子
 - ◎9/21(日) 16:00
◎03(3)95803313 田中いづみ
 - 山本教子バレエスタジオ 第22回発表会 【有料】
◎9/28(日) さいたま市文化センター 大ホール
◎048(852)33517 山本教子
- #### ◎協会員の受賞お知らせ!
- ☆埼玉舞踊協会文化団体連合会文化選奨
吉田久木子氏
 - ☆埼玉舞踊協会文化団体連合会文化選奨
由井カナコ氏
 - ☆現代舞踊協会
☆全国青少年の舞踊祭2013
・チャコットジュニア作品賞
「日本よいここいよこい」
窪内絹子モダンバレエ研究所
・明日の新人賞
「ゴッホと兄弟と仲間達 若き日の夢」
谷乃梨絵モダンバレエスタジオ
おめでとうございます。